

JICA 海外協力隊 赴任前留意事項

アルゼンチン共和国



※本資料に記載の情報は、作成日現在のものであり、その後状況が変化している場合があります。記載内容については正確を期していますが、万が一誤りがあった場合には JICA は責任を負いかねますのでご了承ください。

※本資料は JICA 海外協力隊を対象としたものであり、その他の方には該当しない情報も含まれている可能性があります。

目次

1. 赴任時の携行荷物について
2. 別送荷物について
 - (1) アナカン・郵送等の利用について
 - (2) 通関情報について
3. 通信状況について
 - (1) パソコンの普及状況
 - (2) 携帯電話の普及状況
4. 現金の持ち込み等について
 - (1) 現金持込にかかる注意
 - (2) 両替状況
 - (3) 赴任時に用意することが望ましい金額について
5. 治安状況について（JICAの安全対策については、協力隊ハンドブックを参照）
6. 交通事情について
7. 医療事情について
8. 任国での運転について
9. お問い合わせ
10. その他

アルゼンチンへの赴任準備のガイドラインとして、以下の事項を連絡致します。
必要に応じて参考にしてください。
※内容に関し、着任後に多少変更になっている場合がありますのでご了承ください。

1. 赴任時の携行荷物について

1. 携行荷物について

赴任時にはパソコンを持参することをお勧めします。パソコンは個人間や事務所との連絡、活動などに必要です。

また、アルゼンチンでは、日用必需品はほぼ入手可能ですが、いずれも高額で、品質はあまりよくありません。以下を参考に各自の判断で携行品をご準備ください。

(1) 家電製品

電圧は220V/50Hzですので、日本仕様の製品には変圧器が必要になります。変圧器は(220V→110V)当地で購入可能です。

- ① 変換ソケット(アダプタ): 当国はO型(ハの字型)またはC型(丸型)です。当地で購入は可能ですが、着任初日からパソコン等を使用予定の方は日本で購入される方が無難です。



- ② 炊飯器: 当地でも入手できますが、高額で大型で機能が少ないです。
- ③ デジタルカメラ・ビデオ: 日本製は高額でかつ最新仕様は入手不可。日本からの持参をお勧めします。
※DVDの再生にはリージョンコードの違いがあります。

(2) 衣類

ブエノスアイレスおよび首都近郊は温暖で、東京の気候とよく似ていますが、南半球に属しているため、四季は日本と反対に6~8月が冬、12~2月が夏になりますので赴任の際の服装に気をつけてください。中部から南部にかけて、真冬は寒くなり、ダウンジャケットやコートなどの防寒着が必要です。また雨も多いので傘やレインコートは必需品です。

アルゼンチンでは、衣料のデザインや種類、品物も豊富ですが、日本人とは体型が異なり、またサイズ設定も大きめなので、日本で着慣れた物を携行されることをお勧めします。おおよそ、当地のSが日本のMに当たり、日本のSを着用している方は体に合うサイズを見つけることは困難です。衣類の値段は高めです。

靴も同様に豊富ですが、甲低、細身なので、甲高、幅広の足の方は、日本製の靴を持参されることをお勧めします。

レセプション等の出席時の服装として、男性はダークスーツ、女性はドレスリーなワンピースまたはスーツなどが無難です。

(3) 日本食材について

日本食材は、首都では大体のものが入手可能です。首都には、日系人の経営する日本食材店や中華街があります。地方都市では、日本食材は一般的ではありません。日本の3~5倍の値段で販売されています。

(4) 活動に必要となる物

赴任後に、特に専門書（日本、欧米）が必要となる場合、入手に時間がかかる上、欧米の書籍輸入を取扱う書店が少ないことから、持参することをお勧めします。

(5) 参考までに、帰国時アンケート情報などを元に、準備すると便利な物をまとめました。

① 家庭用常備薬：うがい薬、湿布など

※総合感冒薬、胃腸薬、目薬などは市販されていません。JICA事務所には日本製はもとより当国製の医薬品も常備しておりませんので、体温計や日頃から使用している薬はご自身で購入し持参されることをお勧めします。

② 化粧品：日焼け止め、アイライナー、ファンデーション など

※外国製は入手可能ですが、日本製は僅少です。

③ 衣 類：下着・靴下類、ヒートテック など

④ キッチン用品：和食器、調理器具、包丁、まな板、炊飯器（中華街に売っているが大型で高価、大根おろし器、落とし蓋、砥石、すり鉢、サランラップ、皮むき器、出汁の素 など

⑤ その他日用品：ホッカイロ、多色ボールペン、百円ショップの雑貨（ちょっとしたお土産に）、耳かき、メガネ（輸入フレームは日本より高価）、歯ブラシ、マスク、ホッチキスの針、靴補修用グッズ、携行品落下防止ワイヤー、スマホ液晶用のタッチペン（安価なもの）など

2. 別送荷物について

(1) アナカン・郵送等の利用について

荷物の発送には、別送品、郵送、国際宅配などの方法がありますが、下の①②のとおり、日本からアルゼンチンに荷物を送ることはお勧めしません。赴任時に携行することをお勧めします。

事務所宛に送付する場合の宛先：

.....
.....
..... Sr. Taro KOKUSAI (←氏名をローマ字表記で)
..... Agencia de Cooperación Internacional del Japón
..... Maipú 1300, Piso16 - C1006ACT - Buenos Aires
..... ARGENTINA
.....
.....

① アナカン（別送品）

インボイス（送り状）などの関係書類を必ず持参してください。荷物の引き取りに関しては、通常、通関業者に依頼することになり、経費が発生し自己負担となります。また、引き取りに時間がかかること（通常1～2ヶ月）もあり、利用はお勧めしません。

② 郵 送

EMS、航空便があります。郵送物は書類などであれば事務所まで配達されますが、小包の場合は、通関引き取りとなり、首都にある国際郵便貨物取扱所で、煩雑な手続きをしてからの受領となるため、任期中の日本からの国際郵便の発送はお勧めしません。

(2) 通関情報について

別送した場合に通関が困難な物品、梱包にかかわる留意事項、税関での一時預かり対象物品など、特筆すべき点はありません。

① 入国時

電気製品（特に新品の物）は特に厳しい検査を受けるため、必要最低限としてください。同じ電気製品を2台以上持参した場合、課税されることがあります。

植物の持込については、当国は検疫が大変厳しく、手続きに何ヶ月もかかる事があります。持ち込みはご遠慮ください。

食品類については製品化されたものは問題ありませんが、手作りの味噌や梅干が没収された例があります。味噌、醤油、日本米、基本的な調味料などは首

都で購入できます。

② 任地が地方の方

赴任時、任地へ持ち込む荷物が多い場合、首都から任地へ送ることができます。料金は従量制で航空機の超過料金よりも割安です。

国内フライトは、預入れ荷物は 15kg／1 名までとなっています。23kg までの超過分については超過料金（料金は航空会社の規定による）を支払うことで預入れ可能ですが、23kg を超える荷物は預入れできません。

現地語学訓練を受講される方は、オリエンテーション後約 2 週間の現地語学訓練修了後に、任地へ移動となります。

3. 通信状況について

(1) パソコンの普及状況

① アルゼンチンで購入可能な PC の機種および価格

PC は、一般的に普及して販売店も多数あります。PC、プリンタ、USB メモリ、その他の周辺機器の購入や修理は可能です。また、Apple 代理店もありますが（但し品薄）、いずれも、日本と比べ価格は高額です。プリンタインクも大部分は入手可能ですが、最新モデルに対応したものが入荷されていないこともあります。日本語アプリケーションは入手不可です。また、キーボードは一般にスペイン語配列です。

価格の目安は、デスクトップ型が 1,000 米ドル程度、ノート型が 1,000～1,500 米ドル以上となっています。

② インターネット環境

インターネットは、地方も含めてかなり普及しており、プロバイダは数社あり、ケーブルテレビ会社や電話会社がサービスを提供しています。

通信速度によって料金設定が異なりますが、地方都市でも接続は可能です。Wi-Fi は、多くの空港（地方空港含む）やデパート、レストランやカフェなどの飲食店、ホテルなどで利用可能です。

事務所と隊員の皆さんとの主な連絡手段は、Email になります。現在派遣中の全隊員がメールアドレスを所有し、日々の事務連絡や活動に関する情報共有を Email で行っております。

(2) 携帯電話の普及状況

日本と同程度に普及しています。アルゼンチン事務所は、緊急連絡用にスマートフォンの貸与をしています。日常の連絡や、緊急連絡の際にも使用する場合があります。

ます。

携帯電話は数社あり、様々なプランがあります。ちなみに、固定電話を新たに設置する場合、2~3週間以上かかることがあります。

4. 現金の持ち込み等について

(1) 現金持込にかかる注意

当国に長期派遣される JICA 関係者は、通常、派遣前にユニオンバンクの口座を開設します。任期中の海外手当は、JICA 本部より同口座宛に送金されますが、それを現金化するのに小切手が必要になります。外国銀行の小切手を取り扱う金融機関は限られており、JICA 事務所指定の現地金融機関に登録し、小切手の使用を事前に認めてもらう手続きが必要になります。

この登録が完了するまでには約 1~2 ヶ月かかります。この間は、ユニオンバンクの小切手の現金化はできません。

したがって、着任時にかかる初期費用のための米ドル現金を準備してください(詳細は以下 (3) 参照)。

日本円から現地通貨のアルゼンチンペソ (以下ペソ) への両替については、現地の両替商が円を取り扱うケースが少ないのでお勧めしません。初期費用や予備現金は米ドルで準備することをお勧めします。なお、米国およびアルゼンチンへ 10,000 米ドル相当以上の現金を持込む場合は申告が必要です。また、小額紙幣の受け取りを拒否される場合もあるため、100 ドル札で準備することをお勧めします。

(2) 両替や換金について

① ユニオンバンク小切手による換金

ユニオンバンクの小切手の現金化は、特定の現地金融機関にて行います。手数料は 2.5% かかります。また、現金化まで 48 時間かかります。地方在住の関係者は首都での公務に合わせて手続きを行います。

ユニオンバンク開設に関する案内は、訓練中に青年海外協力隊事務局担当者より送付されます。案内書に基づき開設してください。

赴任時には、住所変更及び小切手送付手続きが必要です。ユニオンバンクに関する書類一式や口座情報、カード、最新ステートメント等、赴任後も必要になるので忘れずにご持参ください。

② 米ドル (またはユーロ) 現金からの両替

特定の銀行、両替商、ホテルなどで両替ができます。

③ クレジットカード

クレジットカードはかなり普及しており、首都圏に限って言えば、一般的な食堂やスーパー、コンビニなどで利用可能です。医療機関で多額の立替払いが必要となった場合に備えるため、また、航空券やホテルの予約にはクレジットカード番号の提示を求められる場合が多いため、最低1枚は持参してください。ビザ、マスター、アメリカンエクスプレスが一般的です。

④ 米ドル T/C (US\$) からペソへの換金

現在、T/C のペソ換金はできません。

⑤ ATM の利用

日本の銀行カードやクレジットカードをこちらの ATM で使用し、ペソの引き出しができるといった保証はありません。また、使えたとしても引き出しの限度額は僅かです。

(3) 赴任時に用意することが望ましい金額について

住居の入居手続きや当面の生活資金等に現金が必要です。赴任時に持参する金額は以下を参考に各自の判断でご準備ください。

長期隊員の場合：

目安として 3,600 米ドル程度をご持参頂くことをお勧めします。

内訳：着任～現地語学訓練（約3週間）

食費・交通費等 400 米ドル

配属先赴任時～生活が軌道に乗るまで

地方着任時の荷物輸送料金 100 米ドル

住居契約時の保証金 1,000 米ドル

家賃の一時立替金等 1,600 米ドル

赴任当初に必要な生活費や諸物品の購入費 500 米ドル

合計：3,600 米ドル

① その他の留意事項

- 赴任時には当面の生活資金が必要となり、調整員や事務所では対応できかねますので、十分な金額をご持参ください。
- 翌四半期以降の生活費については、本部から海外口座（ユニオンバンク口座）へ送金されます。
- 住居は配属先が準備するのが原則ですが、配属先で用意できない場合は、JICA 事務所が候補物件を確認の上、必要と認める経費について負担します。

- 小額米ドル紙幣は両替所によっては受け取りを拒否される場合もあります。初期費用は100米ドル紙幣で準備されることをお勧めします

5. 治安状況について（JICAの安全対策については、協力隊ハンドブックを参照）

近年の経済状況悪化に伴い、政府へ各種政策を要求するデモやストが各地で実施されています。事前の報道などで可能な限り情報を入手し、危険を予知・回避することが必要です。また、道路封鎖や集会などが実際に起きている場合には近寄らない注意が必要です。また、凶悪犯罪を含めた一般犯罪も引き続き発生しています。ブエノスアイレス市の殺人件数は減少傾向にあるものの、強盗の件数は増えているので注意を怠らないようにしてください。

公共交通機関（バス、鉄道、地下鉄など）や人ごみでのスリ、置き引き、ケチャップ強盗（ケチャップや汚水をかけて、親切に拭くふりをしながらスリをはたらく）、モトチョロと呼ばれるバイクによるバック等のひったくりなどは、日常的に発生しています。

安全対策として、緊急連絡網の配布や緊急時の受発信を目的とした携帯電話貸与を行っています。また、随時、事務所から安全対策情報を提供し、注意喚起を促しています。

6. 交通事情について

公共交通機関は、特に首都では充実しており、州都や中規模都市の殆どで、市内バスや中・長距離バスが頻繁に運行しており、市民の重要な移動手段となっています。また、タクシーも殆どの街にあります。首都内では、無線タクシーも増えており、メーター制であるので利用しやすいですが、タクシーの値上げが頻繁に行われ、かなり高くなっている状況です。

レミス（Remís）と呼ばれるハイヤーもありますが、タクシーより割高です。車両は、個人が所有する普通の乗用車です。事前予約ができるので、早朝や夜間の利用に便利です。首都では、近郊への鉄道や、市内中心部から放射状に広がる地下鉄もあります。但し、鉄道を利用する際には車両トラブルによる遅延が多いこと、また、市内バスや地下鉄を利用する際には、スリやひったくりの被害にあわないよう十分な注意が必要です。

タクシーに関しては、一時期タクシー強盗が頻発していましたが、最近では落ち着いています。しかし、流しのタクシーは避け、できるだけ無線タクシーの利用をお勧めします。また、お釣りを用意していない場合が多く、偽札を渡される可能性もあることから、支払いには高額紙幣を使用せずに小額紙幣等を用意することをお勧めします。

現在は、公共交通機関を利用する際に、プリペイドカードを利用して乗車するシステムを導入している地域が多く、首都圏ではSUBEというプリペイドカードを利用します。

7. 医療事情について

首都ブエノスアイレスや各州都には、充実した医療サービスを提供する私立病院があり、殆どの傷病や検査に十分な対応が可能です。日本に比べ医療費はかなり高額です。一方、公立病院や地方の病院などは、医療サービスが著しく劣る傾向にあります。

国土が広大なため気候は様々で、北部、北東部は亜熱帯であり、雨量が多く、ブエノスアイレスを中心とする中部はパンパ地帯とよばれ、四季も比較的はっきりしています。南部は年間を通して気温が低めで、冬季の寒さは厳しく、1年を通して強風地帯です。どの地域においても防寒着は必要であり、1日の温度差が激しい日もあるので、着衣での調整が必要となります。

水道水は衛生上問題ないものの、良質とは言えないので、飲料用としては適さず、ミネラルウォーターを用いたほうが無難です。また、野菜を生食する際には十分に洗浄し、川魚の生食は避けたほうが良いです。

医薬品は国産、輸入品とも豊富に販売されていますが、医薬分業化が進んでおり、医師の処方箋が必要な医薬品も多いです。また、処方量が多い場合があるため注意が必要です。家庭用常備薬（総合感冒薬、胃腸薬、目薬など）は日本で使い慣れているものを持参することをお勧めします。

風土病や伝染病の心配は少ないものの、2015年から2016年にかけてデング熱が北部地域で流行しました。また、ジカ熱患者も北中部地域で確認されています

【予防接種事情】

アルゼンチンにおいて、次にあげるワクチンは接種が可能です。但し、都市部と地方都市において状況が異なる可能性があります。また、日本脳炎ワクチンは入手ができません。

Yellow fever (黄熱ワクチン)	
Hepatitis A Vaccine (A型肝炎ワクチン)	
Hepatitis B Vaccine (B型肝炎ワクチン)	
Combined Hepatitis A+B Vaccine (A+B型肝炎混合ワクチン)	
Tetanus Toxoid (破傷風トキソイド)	
Rabies Vaccine (狂犬病ワクチン)	
Polio Vaccine (ポリオワクチン)	Inactivated vaccine:IPV (不活化ワクチン)
Typhoid Vaccine (腸チフスワクチン)	Inactivated vaccine (不活化ワクチン)
Meningococcal Polysaccharide Vaccine (髄膜炎菌性髄膜炎ワクチン)	
Influenza vaccine (インフルエンザワクチン)	

8. 任国での運転について

隊員に運転が認められるのは、業務や生活上の必要性が認められた場合のみとなり、現時点でアルゼンチンにて該当するケースはございません。

9. お問い合わせ

任国での活動に関する質問は、以下のアドレスにメールでお問い合わせください。
※長期隊員の方は、お問い合わせは派遣前訓練が開始してから行ってください。
※活動に関わる内容以外の質問はお控えください。

ag_oso_rep@jica.go.jp

10. その他

(1) 赴任後の日程

数日間、関係機関表敬訪問、オリエンテーションを実施します。その後、現地語学訓練を行う予定ですが、語学免除者は同語学訓練を実施しません。

現地語学訓練はグループ方式で、アルゼンチンのスペイン語（独特な単語や言い回し）に慣れ、生活に必要な語学力を養うことを目的としています。期間は約2週間程度です。

(2) 赴任時に持参いただきたいもの

- ・ 経理書類に押印する必要があるため印鑑を持参ください。
- ・ 表敬訪問時などに必要ですので、「1- (2) 衣類」を参考に、正装（スーツ、Yシャツ、革靴等）を持参ください。

以上